

## 鳥取市旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関するアンケート調査

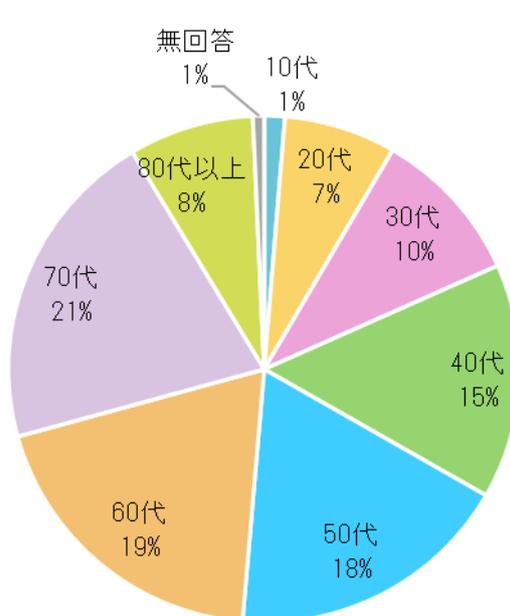
## 実施概要

実施時期	令和3年7月30日～8月16日
実施方法	郵送による配布・回収
対象者	18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）
回答者数	847人（回収率42.4%）
送付資料	依頼文 市民アンケート調査票 （別冊）みんなで一緒に考えましょう 鳥取市の将来

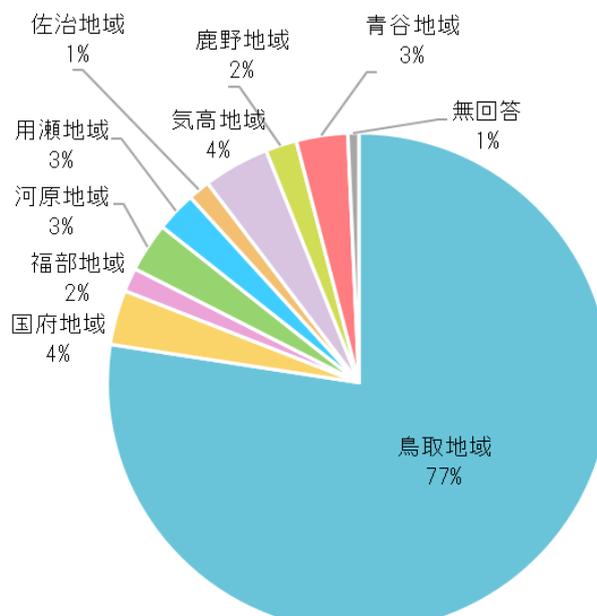
## 調査結果

## 1) 回答者の属性（年齢、居住地域）

- ・回答者の年齢は、70代、60代、50代の順で多く、50代以下（51%）と60代以上（48%）が概ね半数ずつとなっている。
- ・居住地域別では、鳥取地域が77%を占め、多数となっている。



【回答者の年齢】



【回答者の居住地域】

## 2) 跡地の活用策

### (1) 旧日本庁舎等跡地に必要と思う活用策

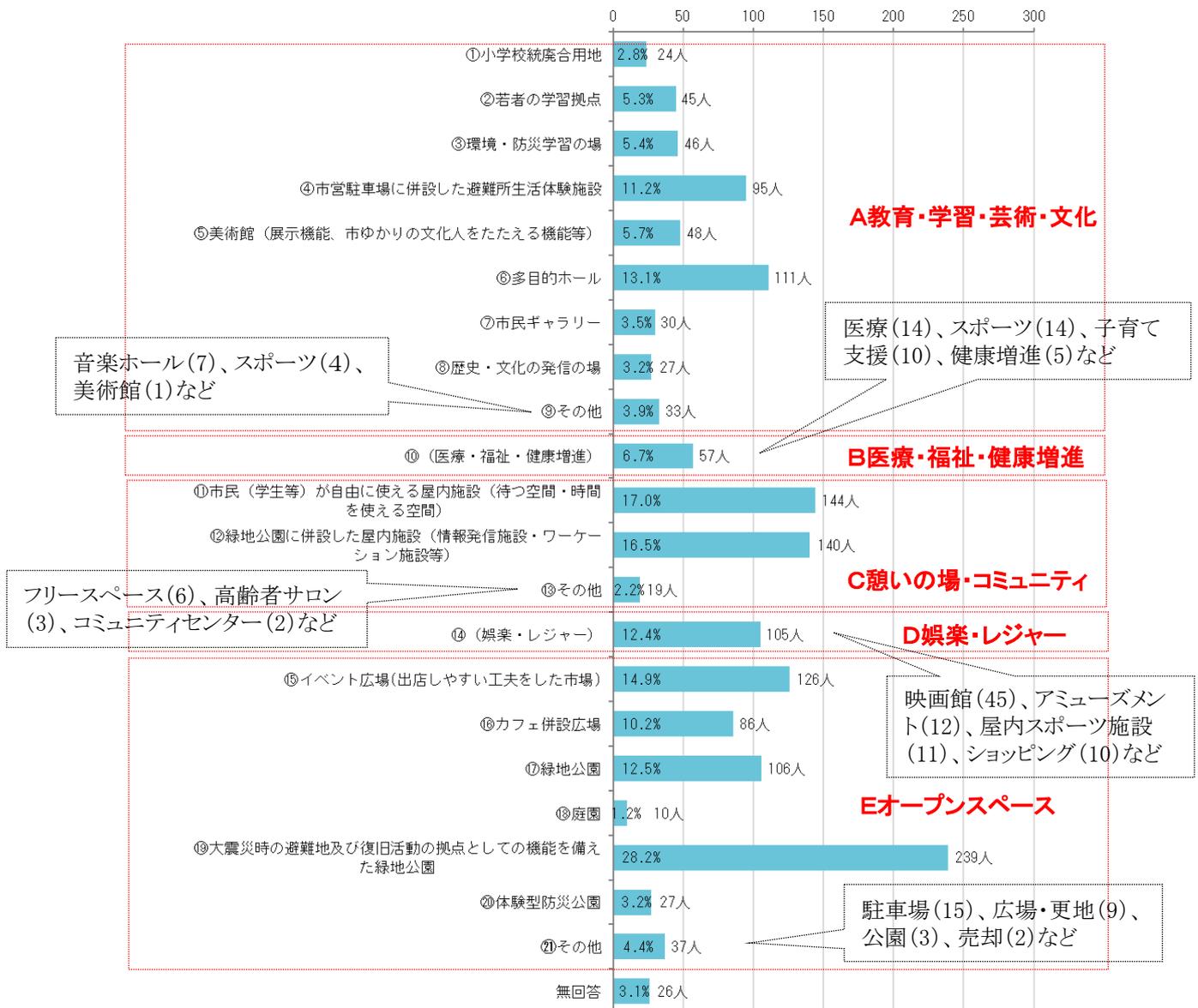
①～⑳の活用策の中から、1つないし2つ選択。

A～Eの5つの各機能からは1つだけ選択という条件を付した。

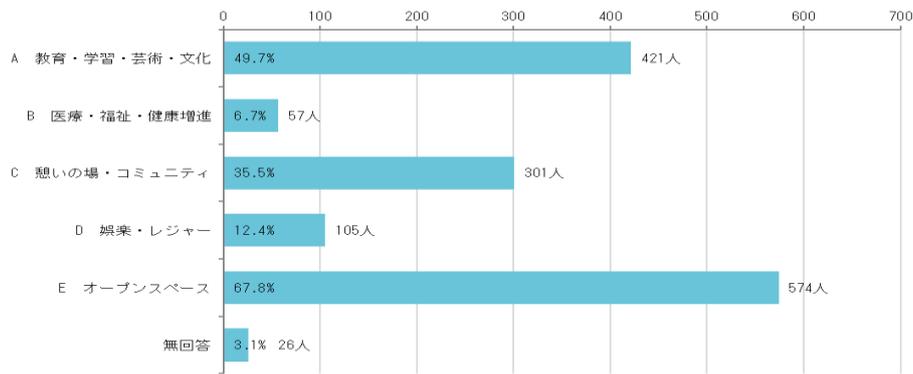
ただし、貴重なデータを有効活用する観点から上記条件を満たさないものも含んで集計した

- ・21の活用策では、⑲大震災時の避難地及び復旧活動の拠点としての機能を備えた緑地公園が最も多く、次いで、⑪市民（学生等）が自由に使える屋内施設（待つ空間・時間を使える空間）、⑫緑地公園に併設した屋内施設（情報発信施設・ワーケーション施設等）、⑮イベント広場（出店しやすい工夫をした市場）、⑥多目的ホールの順で回答が多い。
- ・5つの機能別に集計すると、Eオープンスペースが最も多く67.8%、次いでA教育・学習・芸術・文化（49.7%）、C憩いの場・コミュニティ（35.5%）であった。

※%の数値は、各項目の回答数を回答者数（847人）で除して算出（複数回答のため合計は100%を超える）



【旧日本庁舎等跡地に必要と思う活用策の回答数・%】

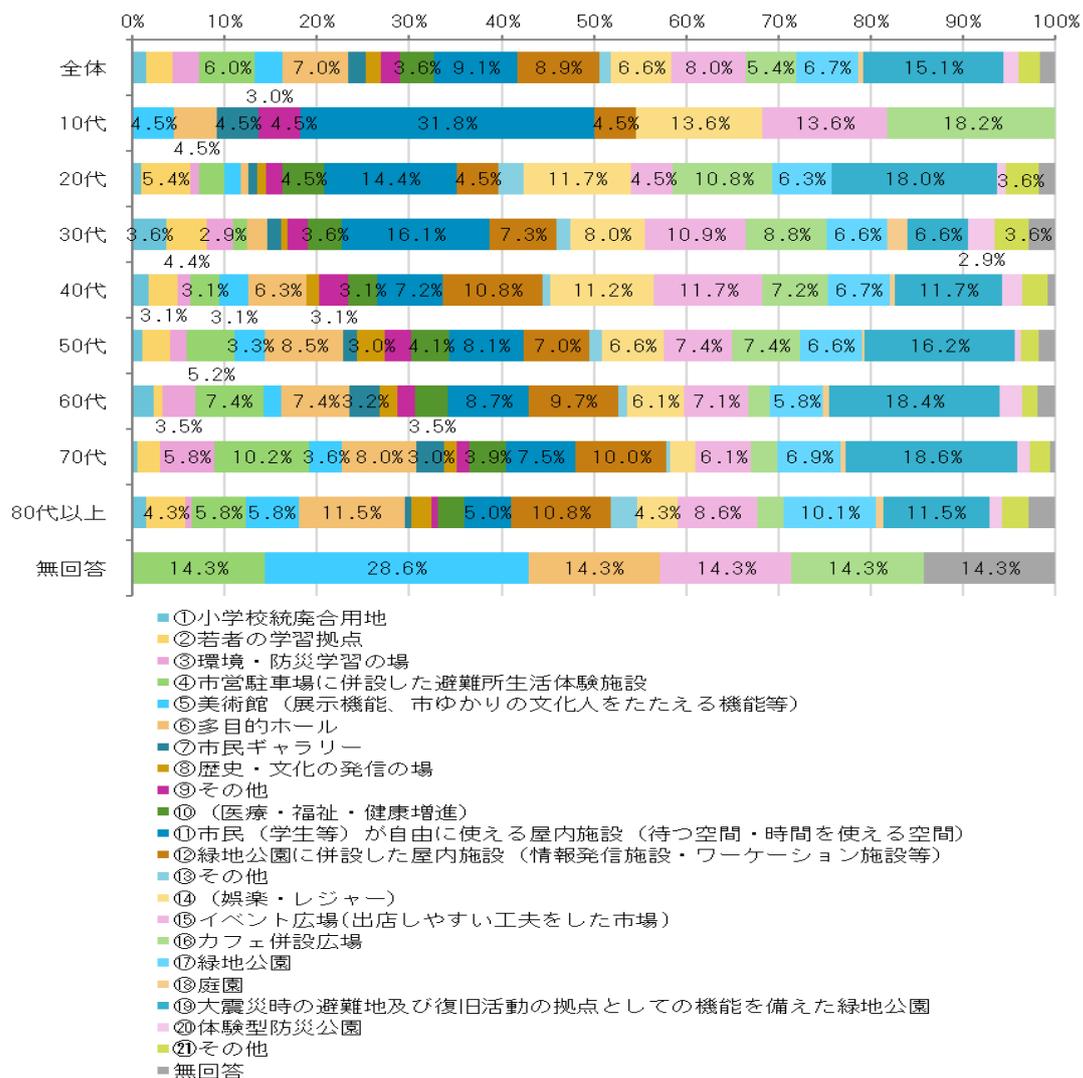


【旧本庁舎等跡地に必要と思う活用策の機能別集計の回答数・%】

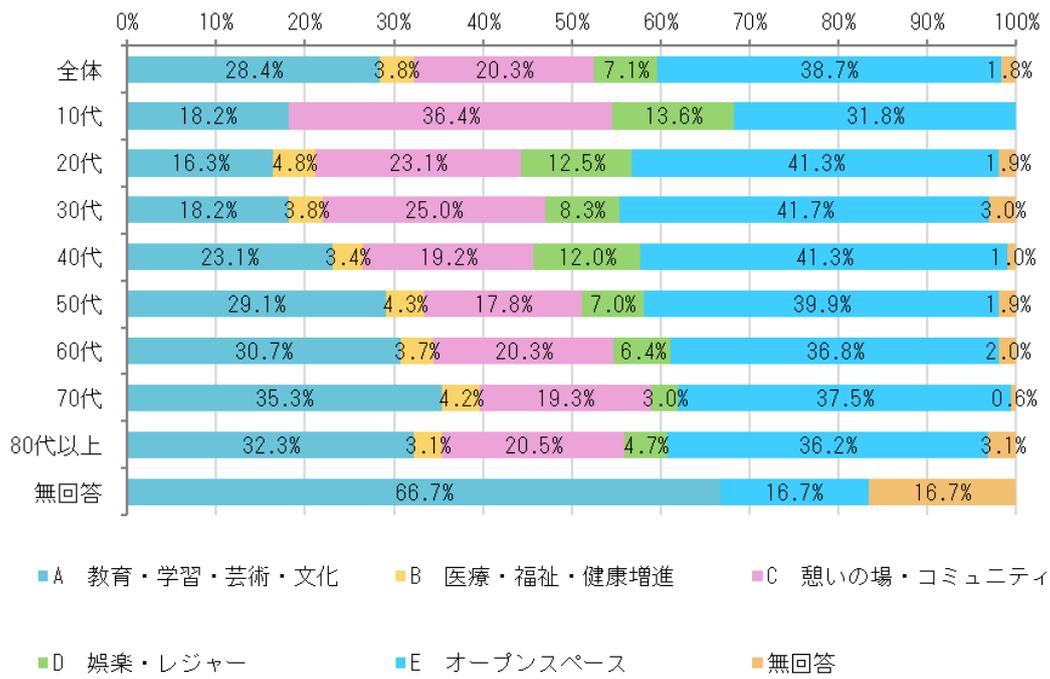
・年代別特徴：⑪市民（学生等）が自由に使える屋内施設、⑭娯楽・レジャー、⑯カフェ併設広場等は若いほどニーズが高く、④市営駐車場に併設した避難所生活体験施設、⑥多目的ホール、⑰大震災時の避難地及び復旧活動の拠点としての機能を備えた緑地公園等は、高齢者のニーズが総じて高い。

※%の数値は、各項目の回答数を全回答数で除して算出（合計100%になるよう算出）

（数値は一部省略して表示）



【年代別 旧本庁舎等跡地に必要と思う活用策の回答比率】



【年代別 旧本庁舎等跡地に必要と思う活用策の機能別集計回答比率】

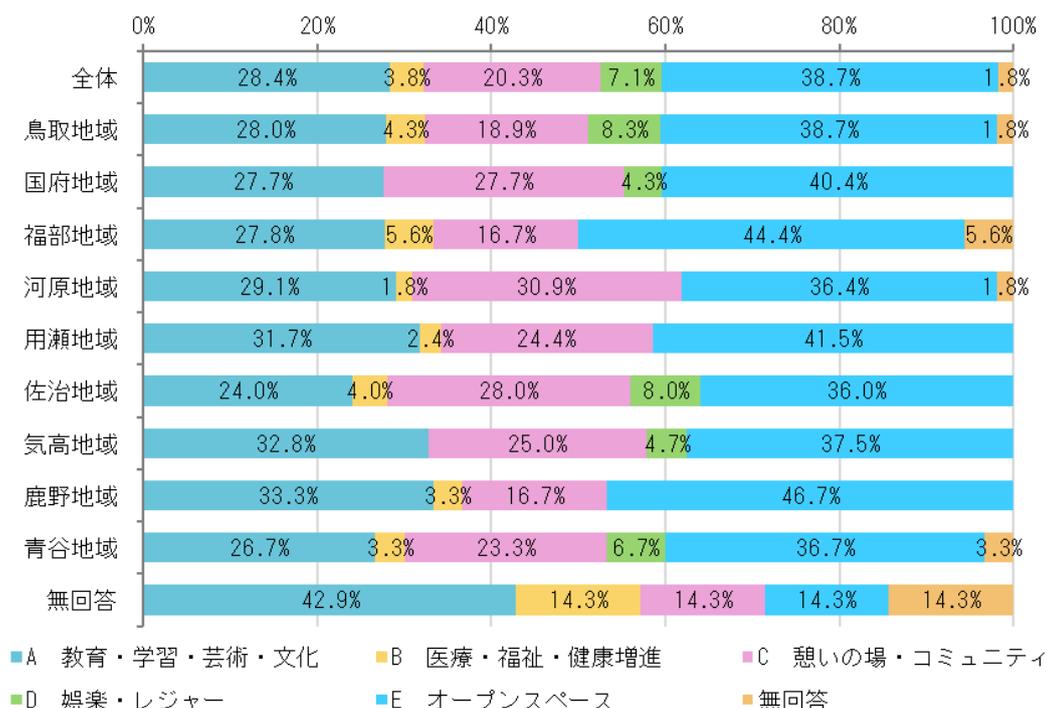
・地域別特徴：いずれの地域も特定の活用策に特化する傾向は見られない

※%の数値は、各項目の回答数を全回答数で除して算出（合計100%になるよう算出）

（数値は一部省略して表示）



【地域別 旧本庁舎等跡地に必要と思う活用策の回答比率】



【地域別 旧本庁舎等跡地に必要と思う活用策の機能別集計回答比率】

(2) 活用策を選択した理由や具体的な内容・イメージ(抜粋)

①小学校統廃合用地
<p>天気に左右されることなく利用できるものがよい 町なかであり、十分な広さがあるため、小学校に利用できそう。</p> <p>市街地の小中学校の児童生徒の減少を聞きます。統廃合が必要となるのでは。 遷喬小、日進小、久松小を合併して、一つの小学校にする。</p>
②若者の学習拠点
<p>若者が増え、賑わいが生れる。私立の学校で県外からの進出でもよいのでは。 学習施設や公園といった親子・家族で学べる、かつ雨や雪の日でも遊べる施設が欲しい。 職業体験のできるものなどあそびと学びを兼ねた場。</p> <p>子どもの学習スペースが少ない 図書館の学習コーナーもいつも満員で使えない</p>
③環境・防災学習の場
<p>最近、大雨や地震等の災害が全国的におこっています。その時々様子や対処方法をビデオ等によって見たりすることによって各個人が身をもって考える習慣を身につけることが大切だと思います。ビデオ視聴室、起震車体験室、必要な備蓄物資室等の教室作りがされたらと思います。</p> <p>近年の環境変化、大型災害に対応する施設及び空間が必要 地球温暖化により想定外のことが発生している。環境問題と防災教育の場として子供から大人までいつでも学習出来る場や体験出来る公園など 施設として</p>
④市営駐車場に併設した避難所生活体験施設
<p>防災については、忘れてはならない問題であるから 病後やけが後のリハビリ場所があると安心だから</p> <p>周辺の商店街活性化のためには、安価に利用できる大収容の立体駐車場が不可欠です。防災や避難所の機能も考えるのであれば、立体で耐震性のある駐車場を備えて、駐車料には補助金を反映させた方がいいと思います。</p>

<b>⑤美術館(展示機能、市ゆかりの文化人をたたえる機能等)</b>
県立美術館が倉吉市に設置され、県立博物館の美術部門が鳥取市になくなるので、鳥取市立美術館で美術作品を鑑賞したい。(米子市立美術館はよい活動されていると思う。)
県内の米子市、倉吉市には美術館はありますが鳥取市にはありません。多くの美術者、書家の方達の展示発表する所があると多くの方々活動発表出来ます。
県東部に常設美術館があってもいい。
<b>⑥多目的ホール</b>
市民会館も老朽化してきている為、今後の取りこわしを想定して、多目的ホールを作るのがよいかと思いました。また、自然の中にあるのも良いと思うので、緑地公園のような広場もあるのが理想的だと思いました。
市民が自由に利用できる場所の確保と活用できる状況をうまくからめて作成してほしい。
様々な世代が多目的に使用できる施設が、汎用性があり、有効活用できると考えたから。
<b>⑦市民ギャラリー</b>
雨が降っても使用できますように
県立博物館やギャラリーはあるが、駐車スペースが狭かったりコイン@に停めないといけないので駐車スペースが広いギャラリーがあったら良いと思う。
勤め人、一般人の自由時間で習い事ができる場があるとよいと思います。そして、作品を展示する会場があると創作意欲につながり、仲間づくりにも効果的です。元気な市民が増えます。
<b>⑧歴史・文化の発信の場</b>
鳥取城跡と連動した歴史文化の発信基地とする。
最近の豪雨災害対応出来るような拠点とする。
日本の文化を継承するための場所
高砂屋の移築。高砂屋を中心に伝統文化の拠点にする 町並の復元し交流の拠点を作る
<b>⑨その他</b>
洋楽・邦楽どちらにも対応できる、音響が良く、調弦室、控室、駐車場が完備し、しかも利用料金の安価な客席 300 程度の小ホールが欲しいです。
跡地は、NHK 鳥取放送局に売却又は賃貸契約する選択肢は無いのでしょうか。
現在の NHK 鳥取放送局は、敷地も建物も狭いため、公共放送としての使命を十分に果たしているとは言い難い気がする。跡地に新設し、教育・学習・芸術・文化に貢献して欲しいと願う者です。
多目的ホール、カルチャーセンターなどは多少なりとも市にあると思うが、音楽ホールというのはない。音質の良いホールで、開くことは、未来のある子ども達にとっても有用だと考える。もっと身近に、音楽を楽しむ場所がほしい。
<b>⑩医療・福祉・健康増進</b>
低価格で利用できるスポーツジム。若年層から高齢層までが使えるよう、多様なフィットネスマシンを多数備えてほしい。運動後に汗を流せ、体をケアできるよう温泉併設だとなお良い。
これから高齢者増える時代、鳥取には老人ホームが少ないと思います。
老人が安心して暮らせる様になれば家族も安心して働けると思います。
介護施設、保育施設に活用して欲しい。介護世代も子育て世代も仕事との両立が困難で、解決する手立てもない。
<b>⑪市民(学生等)が自由に使える屋内施設(待つ空間・時間を使える空間)</b>
誰もが自由に利用出来る場所にして欲しい。
周りの施設とか考えたらこれがいいのかと思った。
若者が楽しく遊べ学んだり出来る施設又は観光に来た人が、立ち寄り見学出来て癒される施設がいいと思う。例えばサンドアートとか砂絵等の砂に関係ある展示や遊べる施設など。
<b>⑫緑地公園に併設した屋内施設(情報発信施設・ワーケーション施設等)</b>
人が集まれるコミュニティ イベント カフェ有 (隼 Lab のイメージ)
防災も考えた施設を併用したもの。(屋外施設)

<p>周辺の様子を見て、緑地公園を軸としての他多目的広場が良いと考えたから。</p>
<p>⑬その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドマークタワーとなる高さ制限ギリギリの高い建築物とする</li> <li>・災害時避難所機能を備えた複合型のマンション</li> <li>・文化、福祉、コミュニティー等々の機能を下層部に、上層部を分譲マンションに</li> <li>・最上階に展望レストラン、屋上に展望大浴場を設ける</li> </ul> <p>※民間活力と資金を活用してやれば十分採算の取れる事業として成り立つと思う。</p>
<p>夏だけでなく、春、秋、冬でも傘踊り体験出来る場所があれば楽しいと思うから。 事業所だけでなく、個人でも販売出来るようなフリーマーケットのスペースがあれば、ショッピングも楽しいし、衣類や他物品(要らなくなった物)の廃棄処分も減って良いと思うから。</p>
<p>子供達が、知らない大人と一緒に、読書や室内遊び(親が働いて1人になる事がある子供)(特に休日・冬休み中)が出来る場。(開放公民館のような場)大声を出してもいい広場、体育館のイメージ</p>
<p>⑭娯楽・レジャー</p>
<p>市の中心に人を集めるためにも日帰りの温泉施設があれば集客につながり周囲の発展につながるため。</p>
<p>子供が楽しめる場所が欲しい</p>
<p>鳥取には、駐車場がある映画館がなく、行きたいと思ってもなかなか足を運びにくい。子供がいる世帯にとっては映画館があると夏休み等とても助かる。 映画館は幅広い年齢層で利用でき喜ばれる施設だと思う。</p>
<p>⑮イベント広場(出店しやすい工夫をした市場)</p>
<p>カルチャースクールなど県民会館と相互協力できる施設。広場には、スケボーの手すりなどオリンピック競技で大阪府松原市がしたような設備充実。鳥取市に住みたいと思うような施設がほしい。例えば、eスポーツの大会が開催できるプロジェクター併設型ホールなど。</p>
<p>若い世代の人がより活躍でき活気ある町にしていくのに良いと思うから。 個人の出店などもしやすい広場に、定期的なみんなで集まれるイベントやステージなどにもなるような、場所があるとまちも活気がわくと思う。</p>
<p>週末のマルシェ等、商店街のイベント、バザーブースに活用。箱物(建物)はいりません。 メンテナンスに経費がかからないシンプルな広場を希望します。</p>
<p>⑯カフェ併設広場</p>
<p>フリースペースとして使用 時代の変化に対して今後を考える、大型箱物は建てないこと</p>
<p>防災の面から、広場は活用しやすい。面積的にグラウンドに匹敵する広場を町中につくるのは、憩いの場としても意味がある。 50～60代がくつろげるスペースとして、Drinkコーナーのような建物はあると、暑さなどから避難もできる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近辺を歩いている人がふらっと寄りたくなるような緑地</li> <li>・広場だけではつまらないので、休憩できるようなカフェ</li> <li>・子供が遊べるような遊具</li> <li>・商店街利用者も車をとめられる駐車場</li> <li>・お祭りなどもできるようなフリースペース、出店がたくさん並ぶような</li> </ul>
<p>⑰緑地公園</p>
<p>市内中心部に緑豊かで憩いの場として利用できるエリアがあると、賑わいを無くしつつある商店街に活気が生まれると思うから。 また、周辺施設で会議やイベントがある際に、待ち時間に一息つける空間としても利用できる。※屋根がついている箇所や併設駐車場があるとより有効に活用でき、利用が盛んになると思われる。</p>
<p>鳥取市には緑化公園が少ない為、誰でも気軽に使用出来る憩いの公園。 キッチンカーも乗り入れ可能な緑地公園 年配の方やファミリーも集まれる公園</p>
<p>⑱庭園</p>

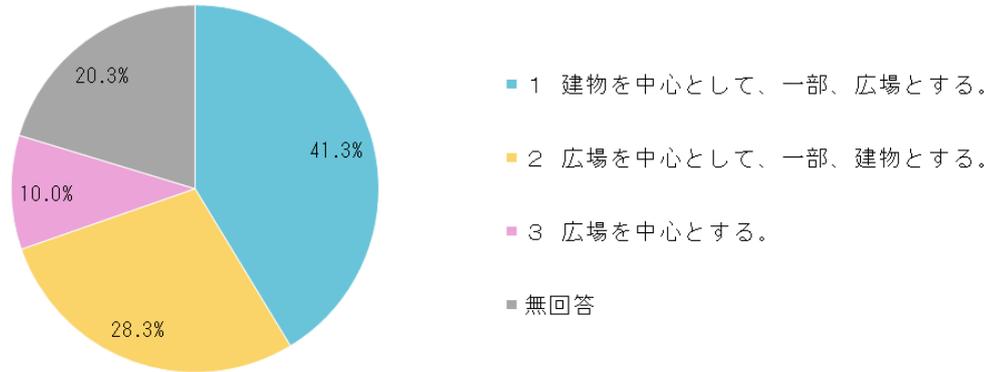
鳥取には緑の公園や庭園が少なく人があつまらない
鳥根県の足立美術館のミニで市民も潤いたい庭園を造ってほしい。建物ばかりにこだわる必要は無いと思う。
病院が近いので気分転換にきれいな庭園を見ながら散歩出来るので良い。
⑱大震災時の避難地及び復旧活動の拠点としての機能を備えた緑地公園
病院も近くにあり、県庁も近く、交通の便も良いから災害の時良いと思う。
市内に緑が少ない(街路樹を含めて)
災害時の避難場所を兼ねた場所であって、通常は”憩いの場所”が大切である。
障がい者(車イス)等に対応出来る避難所がないので、その機能を持った公園
⑳体験型防災公園
今後、防災に対する備えが一番大切になると思います。鳥取大地震や鳥取大火災などを忘れない為、記念館や体験できる設備があればいいと思います。
防災を体験できる施設
・建物からの避難方法 ・エレベーターからの避難方法とか
鳥取市内(駅あたり)に大きい公園がないと思うので、備えも含めて防災公園が良いと思います。
市役所にも防災の備えがあることは存じていますが一極集中より分散しておいたほうが良いのかなと思います。
㉑その他
(一社)日本RV協会が認定するRVパークを公設で行うことにより、近年増加しているキャンピングカーでの車中泊を行う方々に鳥取の中心地に泊まってもらい、飲食店、温浴施設や仁風閣等の観光施設にも立ち寄ってもらうことで地域の活性化の一助にする。
本庁舎跡地周辺、JR駅周辺に行く場合、いつも足が遠のくのは駐車場の事になります。跡地を無料駐車場にしていいただいたら、商店街を私達は歩きます。少しは買い物客も増えないでしょうか。
鳥取市の一番西に位置する為に何が作られても利用する事が少ないので意見有りませんが建物(施設)等は良くないでしょう。後々管理が大変ですから
民間企業による商業施設の誘致

### 3) 跡地の活用方法 (イメージ)

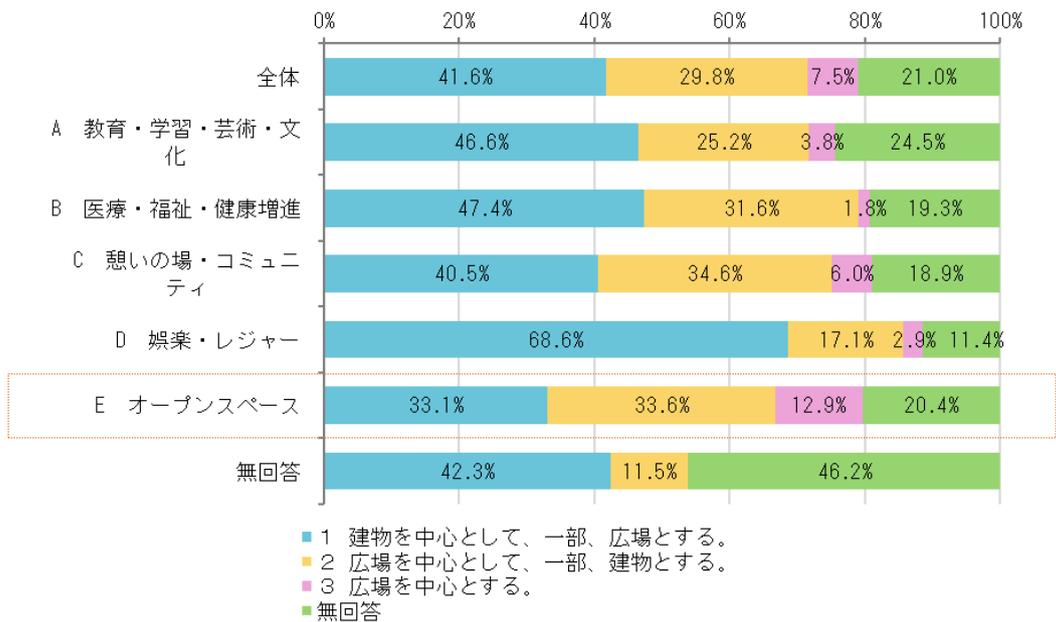
#### (1) 建物と広場の使い方としてのイメージ

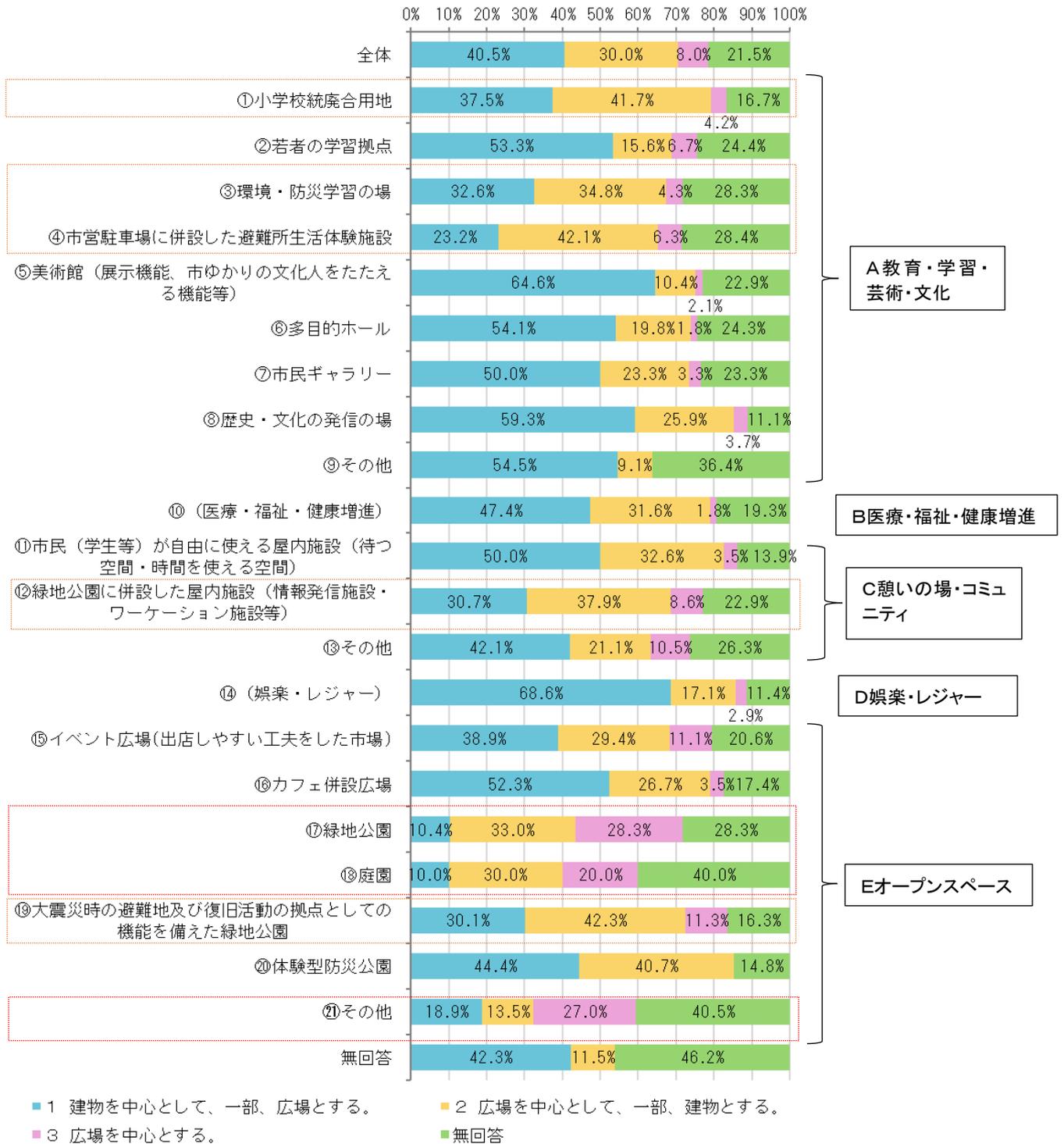
3つの選択肢のうち1つを選択

- ・1 建物を中心として一部広場(41.3%)が最も多く、次いで「2 広場を中心として一部建物」(28.3%)であり、「3 広場を中心」(10.0%)が最も少ない。



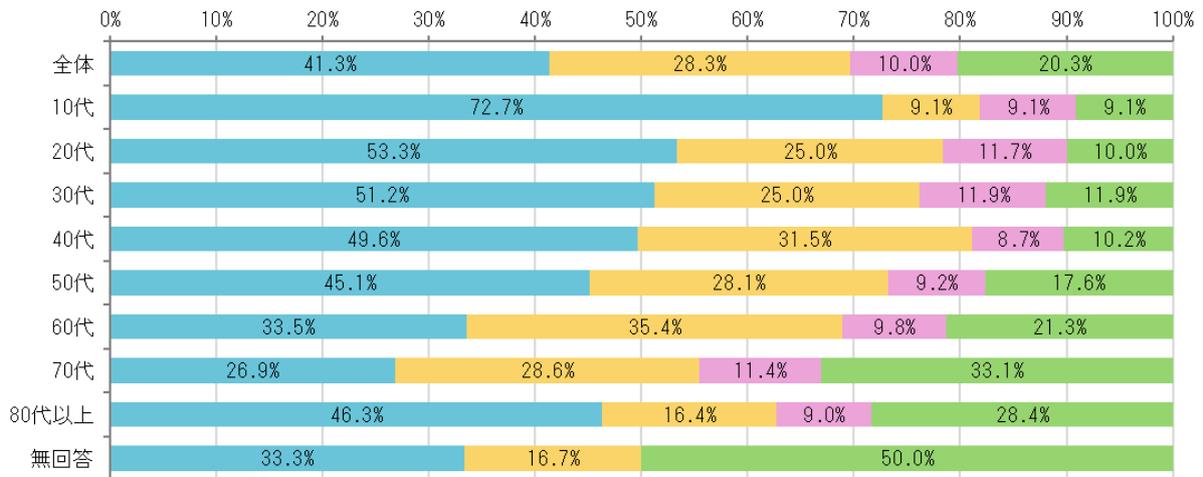
- ・5つの機能別に集計すると、Eオープンスペースが「2 広場を中心として一部建物」の回答が最も多く、その他は「1 建物を中心として一部広場」が最多となっている。





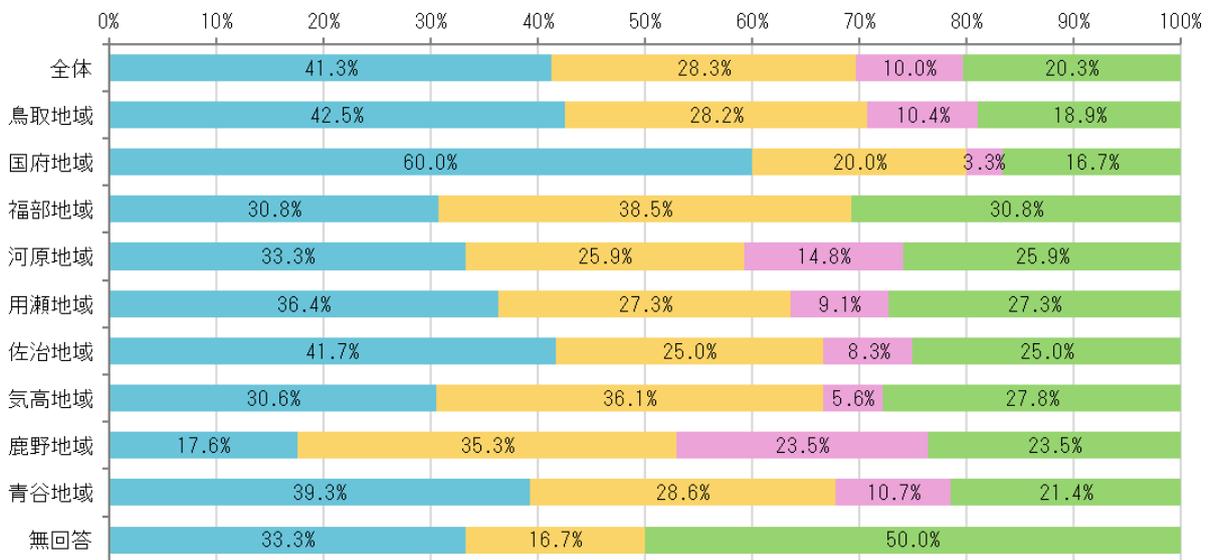
【(問2) 跡地の活用策と(問3) 活用イメージのクロス集計回答比率】

・年代別特徴：若いほど建物に対するニーズが高い傾向がみられる。



■ 1 建物を中心として、一部、広場とする。 ■ 2 広場を中心として、一部、建物とする。 ■ 3 広場を中心とする。 ■ 無回答

・地域別特徴：福部地域、気高地域、鹿野地域では「2 広場を中心として一部建物」が最も多く、他の地域では「1 建物を中心として一部広場」が最も多い。特に国府地域は1の回答が60%を占めて多く、一方、鹿野地域は1の回答が最も少ない。



■ 1 建物を中心として、一部、広場とする。 ■ 2 広場を中心として、一部、建物とする。 ■ 3 広場を中心とする。 ■ 無回答